
6月20日宣言解除後の感染の推移

2021年6月14日

藤井大輔(東京大学)
仲田泰祐(東京大学)

分析

■ 目的

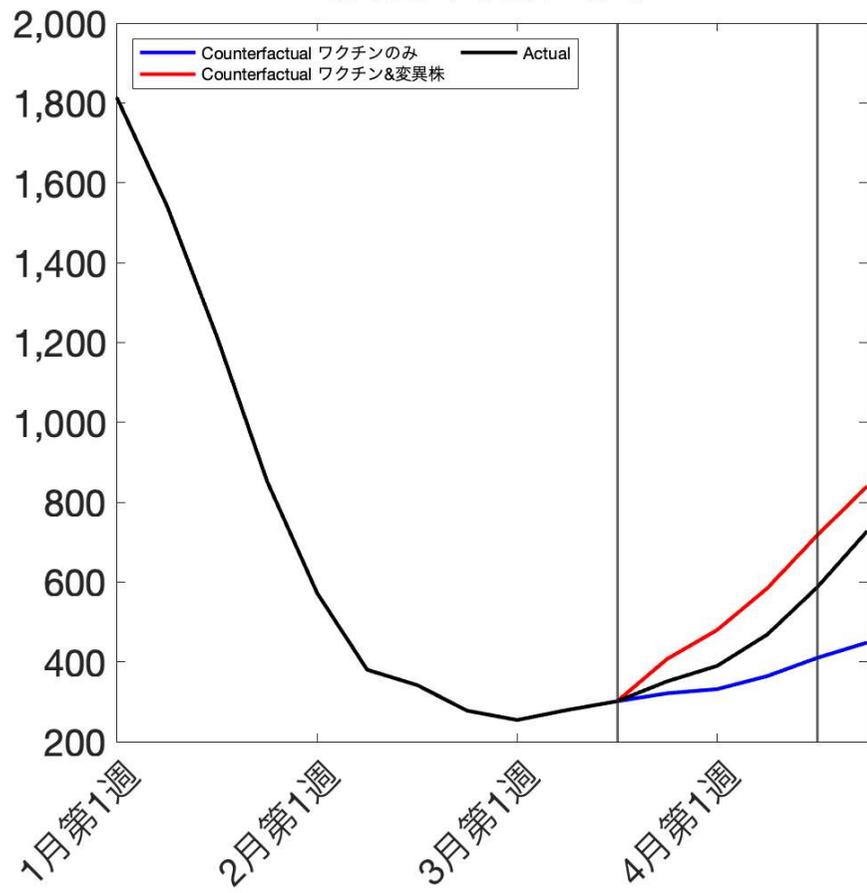
- (1)高齢者ワクチン接種が進んでいるが、(2)デルタ型変異株の割合が上昇しつつある状況で*、緊急事態宣言を解除することの意味をイメージする

■ Counterfactual Experiments

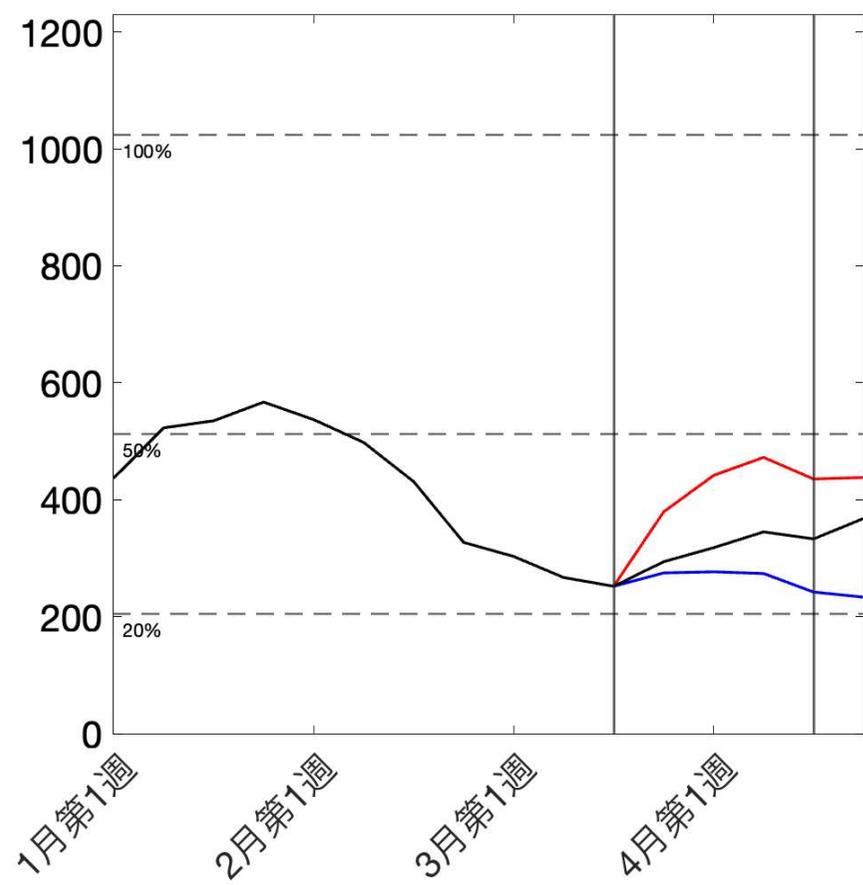
- **もし仮に東京都での今年3月22日の宣言解除**の際に、(1)高齢者ワクチン接種・(2)デルタ型変異株割合と
いうの2つの変数が6月20日時点・及びその後に想定されるレベルと整合的であったら、その後感染はどの
ように推移したであろうか？
- これを元に、**6月20日に宣言解除した後**に3月22日解除後の「人流増加・気の緩み・自粛疲れ」等が観察されれば、その後の感染はどうなるであろうか？をイメージ

*アルファ株が蔓延していることも考慮

新規感染者数の推移



重症患者数の推移



読み取れること

- もし仮にワクチン接種が進んでいたら & デルタ株割合がゼロだったら (青い線)
 - 3月20日宣言解除後に
 - 4週間で新規感染者数100-150人増加・重症患者数は微減
- もしワクチン接種が進んでいたら & デルタ株割合が増加中だったのなら* (赤い線)
 - 3月20日宣言解除後に
 - 4週間で新規感染者数は約500人増加・重症患者数は約200人増加
- もし6月20日宣言解除後に、3月22日宣言解除後のような「人流活発化・気の緩み」が起きれば、赤線のようになり得ることを示唆

*アルファ株が蔓延していることも考慮

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
 - dfujii@e.u-tokyo.ac.jp
 - taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp